

天孫降臨の地 高千穂

熊本県との境に位置する高千穂町は、古事記ではニニギノミコトが高天原(たかまがはら)から舞い降りた「天孫降臨の地」と伝えられ、町のいたるところに神話や伝説の舞台となった場所があります。まさに現在の日本はこの場所から始まったといえるのではないのでしょうか。



誕生

御朱印めぐりMAP



神技が息づく手仕事の里 日之影

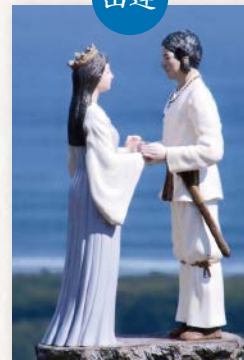
日之影町では日常生活から生まれた「わら細工」や「竹細工」が盛んで、道具としての機能性だけでなく、芸術性も備わっています。それはまさに「神技」。神様はこの地を通りながら、その技を生み出すことができる「知恵」を与え、人の手に神の技術を授けてくれたのではないのでしょうか。



伝承

出逢いの聖地 延岡

延岡の街の中心部にある標高251mの愛宕山は、古くは「笠沙岬(かささのみさき)」と呼ばれていました。海に囲まれて岬であったその昔、天孫ニニギノミコトとコノハナサクヤヒメがこの場所で出会い結ばれたという、まさに「出逢いの聖地」なのです。



出逢

神話ロマン溢れる宮崎県北のスピリチュアル観光スポットに注目しよう。

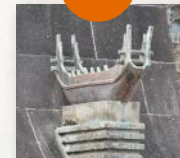
神様の
お話しと
地域の魅力

高千穂に天孫「ニニギノミコト」が降り立ち、深い山奥に日の光が差し込む日之影で人々に生きる知恵や技を伝え、そして延岡でコノハナサクヤヒメと出会い、笠沙岬(かささのみさき)で結婚し、海幸彦・山幸彦が誕生しました。その後、子孫である神武天皇が日向の美々津より東征へ出発したという神話(お舟出)が息づいています。



神武天皇 お舟出の地 日向

後の神武天皇であるカムヤマトイハレヒコノミコトは、「どうもこの土地は国を治めるにはあまりにも西により過ぎている。東方にはもっと良い土地があるというから、東に向けて舟出しよう。」と決心し美々津より旅立ちました。



旅立

美々津重要伝統的建造物群保存地区

神武天皇が東征へ向け旅立った地

東征へ出発